

様式第 2 号（第 8 条関係）

審議会等会議録

（順不同・敬称略）

会議の名称	令和 7 年度第 1 回加須市介護保険運営協議会
開催日時	令和 7 年 7 月 2 5 日（金） 午後 1 時 1 5 分から午後 2 時 3 0 分まで
開催場所	加須市役所 5 0 5 会議室
議長氏名	三宅 仁 会長
出席委員	三宅 仁、加藤 美津枝、藤咲 和子、小林 章子、町田 由男、 神田 修、福島 祐一、太野 貴宏、田中 良明、杢木澤 和弥、 仲山 良二、鎗田 宏、大川 利行、片野 和夫
欠席委員	内田 親
会議次第	1 開会 2 委嘱状交付 3 あいさつ 4 議事 （1）令和 6 年度加須市介護保険事業特別会計歳入歳出決算 （案）等について （2）第 5 次加須市高齢者支援計画の進行管理【令和 6 年度 の実績と評価】 （3）地域で高齢者を支え合うしくみづくりについて （4）その他 5 閉会
会議資料 の名称	資料 1－1 令和 6 年度加須市介護保険事業特別会計歳入歳 出決算（案） 資料 1－2 加須市介護保険事業の状況 資料 2 第 5 次加須市高齢者支援計画の進行管理【令和 6 年度の実績と評価】 資料 3 地域で高齢者を支え合うしくみづくりについて
会議の公開又 は非公開の別	公開
非公開の理由	－
傍聴者の数	0 人

説明者の 職・氏名	福祉部高齢介護課長 高瀬 郁子 福祉部高齢介護課主幹 杉山 大綱、西山 雄久
事務局職員 職・氏名	福祉部長 宮寄 秀樹 福祉部高齢介護課長 高瀬 郁子 健康スポーツ部参事兼いきいき健康医療課長 荒井 幸子 福祉部高齢介護課主幹 杉山 大綱、西山 雄久 騎西福祉健康担当主幹 相澤 睦 北川辺福祉健康担当主幹 長沼 克洋 大利根福祉健康担当主幹 今井 和美 福祉部高齢介護課主事 加藤 あさ美 生活支援コーディネーター 増田 章子
会議録の 作成方法	☒ 要点記録 ☐ 全文記録
その他必要 な事項	

様式第 3 号（第 8 条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
司会 (西山主幹)	1 開会 (省略)
角田市長	2 委嘱状交付 (省略)
三宅会長	3 あいさつ (1) 会長あいさつ (省略)
角田市長	(2) 市長あいさつ (省略)
司会 (西山主幹)	4 議事 これより会長が議長となり議事を進行いたしますので、三宅会長、よろしくお願いいたします。
議長 (三宅会長)	それでは、議事に入らせていただきます。 委員の皆さまにおかれましては、ご多忙の中、お集まりいただいております。本日の審議時間は約 60 分、2 時 30 分を目安に、説明及び質疑は簡潔明瞭に行っていただき、限られた時間の中で、より多くの委員の方からご意見をいただきたいと思いますと考えております。 資料も事前にいただいておりますので、事務局からすべての資料を通して簡潔に説明を受けた後に委員の皆さんからご質疑、ご意見をお受けする形で進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。 <はい>という人あり それでは、事務局からまとめて説明を受けた後、ご質疑とご意見をいただく時間を設けるということでお願いします。 事務局、説明をお願いします。 (事務局説明) (1) 令和 6 年度加須市介護保険事業特別会計歳入歳出決算(案)等について 資料 1 - 1 令和 6 年度加須市介護保険事業特別会計歳入歳出決算(案) 資料 1 - 2 加須市介護保険事業の状況
事務局 (高瀬課長) (西山主幹)	

(杉山主幹)	(2) 第5次加須市高齢者支援計画の進行管理【令和6年度の実績と評価】 資料2 第5次加須市高齢者支援計画の進行管理【令和6年度の実績と評価】
(杉山主幹)	(3) 地域で高齢者を支え合うしくみづくりについて 資料3 地域で高齢者を支え合うしくみづくりについて
議長 (三宅会長)	事務局の皆様、ご説明ありがとうございました。 たくさんご質問やご意見がある方もいらっしゃると思いますが、できるだけ多くの委員の皆さんからご発言をいただきたいと思いますので、まずは、ご質疑やご意見は1回に1つでお願いしたいと思います。 それでは、ご質疑、ご意見がございましたら、挙手をお願いします。
太野委員	資料2、30ページ「3 認知症の人本人による発言機会の拡大」というところで、認知症の本人ミーティングのことを書かれています。 目標が「1」に対して実績が「0」ということで、私が認知症カフェの主催という立場ですけれども、実際この「本人ミーティング」については、ご家族の方に確認はしていますけれども、やはり「どういうことを聞かれるのか」とか、ミーティング取材とかするときは、ご本人様の名前や住所を一切伏せた形で載ると思うのですが、どうしても広いところに伝わるのではないかと、警戒しているというか、ちょっと不安というお声を聞いております。その中で、認知症地域支援推進員会議において本人ミーティングの内容や実施方法を共有ということを書かれています。ミーティングの内容、実施方法、どうすれば本人ミーティングに参加できるかということについて、お聞きしたいと思います。
事務局 (高瀬課長)	認知症地域支援推進員会議の資料が手元にないため、細かいことは、お答えができず、申し訳ございません。 認知症施策の中で、ご本人のお話を伝えていかなければいけないということが、明確にされております。今、話し合っているのは、認知症推進月間がありますので、そちらに向けて、認知症の方々のお話をお聞きしたものを、ビデオのような形にして、ホームページに載せるなど、その認知症推進月間に、皆さんに周知していくことができないかと話し合っています。 それをどのように進めていこうかなど、認知症施策は非常に重要になってきておりますので、実際に担当している方から、市の意見をどんどん広めて進めていこうということで、積極的にこちらから該当する方々に話し掛けたりをしている途中で

	ございます。
神田委員	先ほど資料でご紹介いただいたデマンド型タクシーの利用申請体験会について、地域で今年の秋、実施を予定しています。そこで、デマンド型タクシーの利用実績の現状について、教えていただきたい。
事務局 (宮寄部長)	デマンド型乗合タクシーの利用状況ですけれども、政策調整課で所管しておりまして、データが手元にございませんで、後日、報告させていただきます。 デマンド型乗合タクシーについては、それぞれの地域ごとに異なる台数で運行しておりまして、中エリアは4台、南エリアは3台、北エリアは1台で、それぞれワゴンタイプの車両で運行しております。それぞれ1日当たり、何人ぐらい利用して、いるといったデータもございますので、後日、お示しします。
町田委員	資料3の「移動スーパーの協力、連携」のお話がありましたけれども、それぞれの3つの業者が、移動スーパーを利用している方々に対して、書面で「このような状態になったときには中止にしますよ」という連絡をしています。 私も、自分のところの8箇所の移動スーパーの場所について、毎回、回っています。ただ、このような暑さの中で、熱中症警戒アラートの発令や防災無線が放送されるような状況の中で、なかなか「熱中症特別警戒アラート」が出ません。発令されると中止にするということのようですが、その辺の判断がちょっと微妙なところですよ。一般の方々も、まず、放送で言っているのだから、今日は中止であろうという判断をして、このところ、2週続けて、移動スーパーに来てくれる方々が少ないように見受けられます。 そのような関係で、35度ぐらいの状況があったときには、中止に移行するような形だとか、何かもっとはっきりわかるような判断ができないだろうかということで、市のブロンズ会議の事務局としても、働きかけをしていただきたい。業者の方は、台風とか雪とかではない限りは、私たちはその場所へ行きますというふうに言っていますが、今回のこの暑さの中で、ましてや、時間的に昼から4時半ごろまで、一番暑い中で、移動スーパーがやれて開催をさせていただいているような状況の中でございますので、その辺のところの判断をどのような形で考えていらっしゃるか、お伺いをさせていただければと思います。
事務局 (宮寄部長)	暑さの中での移動スーパーの運行の判断ということでございますが、熱中症特別警戒アラートが発令された時には、主催者が行事やイベント等の中止または延期を判断します。

	熱中症特別警戒アラートが発令された場合、移動スーパーは中止となりますが、その手前の段階については事業者の方と、コンセンサスが得られていない状況ですので、事業者の方と調整をさせていただいて、判断基準を検討してまいります。その件については、決まり次第お話をさせていただきます。
三宅会長	移動スーパーのことですけれども、数を聞いていると、相当数、回っている箇所が増えているかなと思います。割合的にどれぐらい増えたのか、分かる範囲で教えていただければと思います。
事務局 (杉山主幹)	令和3年度に騎西地域からスタートしたところですが、そのときが、30数箇所、令和7年度は115箇所、令和6年度が109箇所でしたので、令和6年度と7年度を比較すると6箇所増えたところでございます。
三宅会長	ありがとうございます。これは非常に、個人的には関心を持っていたのですが、やはり高齢者の方にとっては、かなり便利で、またいろんな意味で、地域との関わりも含めて、有効なものだなと思います。これは、関係者の皆様方のご尽力の賜物と思っております。 また、「5 交流の場」ところですが、こちらの高齢者の人との繋がり創出ということで、実は本学でも、いきいき大学を主催しております。また、この4月から、本学で、総合型地域スポーツクラブを立ち上げました。これは、地域とのスポーツを通じた交流を目指すもので、高齢者の筋力トレーニング、ボッチャ教室、フラダンス教室といったものを行っております。空いておりますので、こういったものを利用して、高齢者との繋がり場として、利用していただければと思っております。
藤咲委員	「交流の場」についてですが、今日の午前中も陽光台の交流の場をやってきました。そこへ、今お話のあった先生方を派遣する調整方法を教えていただければと思います。 実現できたら、集まる方も多くなると思います。
三宅会長	先生方の派遣は全くできないということではありませんが、調整は必要になってくると思います。
福島委員	移動スーパーは、非常に良いアイデアだと思います。加須の街の真ん中や、東栄町でスーパーが閉まってしまうということで、駅周辺で買い物に困っている人が非常に多いです。患者さんや街中の人で、買い物に困っているという人が多くて、移動スーパーがあるということを、意外と知らない人も多いので、

もうちょっと、移動スーパーの宣伝をしていただいたらいいと思います。各医療機関に、ポスターなどを配られるものを考えてもいいのではないのでしょうか。

先ほどの運動の話ですけども、市でも筋力アップトレーニング事業を実施していますので、そういうものをもうちょっと宣伝して欲しい。加須市内にたくさんのスポーツジムがあります。そういうところに、私の高齢者の患者さんにも、「高齢者でも行っていいのだよ。」と勧めています。

近所のジムの看板のところにも、介護予防を謳ってあります。平日の午前、昼間に行くと、70歳前後の人が結構頑張っているようです。そのようなスポーツジムを「1回のぞいてみたら」と言うように、せっかくあるスポーツジムを利用してもらい、場合によっては高齢者に対して、その利用料金補助してもらえれば、寿命が延ばせるのではないかと思います。前も話したかもしれませんが、私も、週末は街中を走っています。運動することが一番健康寿命を延ばす。このような施策は、どんどん進めて行って欲しいです。

また、特に移動スーパーの宣伝やアピールをお願いします。

三宅会長

大変貴重なご意見ありがとうございます。

ぜひ、移動スーパーを進めていてもらいたいと思います。

小林委員

私は大利根に住んでいるのですが、ブロンズ会議は、私どもの地域は盛り上がっていて、いろんなお話が出てきています。一方で、他の地域では、このブロンズ会議については、立ち上げようというお話は、なかなか聞こえてきません。

私どものところでは、高齢者の人のサロンも何十年と続いているのでありますが、こういう広がりや、現状どうなっているのかと思ひまして、質問させていただきます。

事務局
(杉山主幹)

ブロンズ会議につきましては、第2層ブロンズ会議、第3層ブロンズ会議という、エリアごとに分けられたブロンズ会議がございます。第2層というのが社協の支部単位で16箇所、全てで設置されております。そして、第3層というのが自治会単位で現在設置を進めているところでございまして、今は53箇所に設置されております。

委員からお話いただきました他の地域のブロンズ会議がどのような状況かというお話でありますが、確かに、ご意見いただいているところでございます。

「資料3」の一番下の写真でございしますが、令和6年度加須市ブロンズ会議フォーラムでございまして、このようなフォーラムを毎年1回開催しております、そこでブロンズ会議の活動を事例発表していただいたり、昨年度は開催しませんでした、事例発表の他にグループ分けをして、参加されている他の

加藤委員	エリアのブロンズ会議の皆様と意見交換をしたりですとか、そういった機会を設けつつあるところでございます。 今、いただきましたご意見をもとにいたしまして、ブロンズ会議が、こういった活動がされているのか、こういったところでできるのかというところの積極的な広報周知に努めて参りたいと思います。 今年度の決算については、厳しい状況の中において、6億円以上の繰越金というのは、大変努力されているのかと思いますが、国などから何%来るという数字が、大変低いという説明がございました。これについて、加須市だけではなく、連合のようなところで、国へ働きかけしたらどうかと思います。 また、支出の9割が介護保険に関わる費用という説明がございましたが、それに関わる50%が、40歳以上と65歳以上の方に保険料として負担にかかってくるわけです。少子高齢化と言いますと、これからどんどん介護保険サービスや、介護施設を利用する方が増えると思います。そして、負担する若い人が減っていきます。そして、どんどんこれから保険料が増えていくとすると、この制度が持続できるのかという将来的なことも考えます。少ない年金の中から、介護保険、国保、住民税まで全部引かれます。徴収率がいいということは、特別徴収しているから、徴収率は上がると思います。 高齢化に伴って保険料もどんどん上がらないようにするため、市は、広報や、先ほどから出ていますブロンズ会議というようなことをやっていると思いますが、そういうことをもっと考えて、介護保険を使わなくてもすむような、元気な高齢者が多くなるように、これから検討していただきたいと思います。
事務局 (宮寄部長)	委員のおっしゃる通りでございまして、介護予防を進めることによりまして、それだけ給付も減ってくるということにもなりますので、これは市長も申し上げておりますが、介護予防は引き続き、積極的に中心に据えて進めていきたいと思っています。
大川委員	先ほど、移動スーパーの件がありましたが、最近、非常に暑い状況の中で、市から、「大利根エリアの方の移動スーパーの参加率はどのくらいか」というのを見て欲しいということで、回っていただいているのですが、移動スーパーの利用者が少なくなってきていると聞いています。 その中で、暑さ対策という部分に関して、最近北海道のメディアでもあったのですが、ひとり暮らしの方のお宅の訪問に関して、加須市としてどのように考えているのかをお伺いします。 もう1つが、加須市のアプリに毎日のように職員の名を

	騙って詐欺の関係のアプリ通知が結構来ますが、高齢者相談センターの職員も訪問するたびに話をしているのですが、改めて加須市として、その先の対策に関してのPRはされているのかどうかを確認させていただければと思います。
事務局 (宮寄部長)	まず、詐欺の対策の関係ですけれども、民生委員が、市内全域で240人ぐらいいらっしゃいますので、民生委員がひとり暮らし高齢者宅等を訪問されるときに、詐欺に遭わないようにと恒常的にお話いただいています。 また、昨年度、警察と協力をして、市職員と高齢者相談センター職員、警察官で、市内の一部でしたが、特にご高齢の方のお宅に対し、オレオレ詐欺の電話が多いという警察の話でしたので、留守電機能を活用して電話に出ない旨を訪問して注意喚起したところでございます。
事務局 (高瀬課長)	市が行っている熱中症対策につきましては、各民生委員が、担当する地域住民の世帯状況などを確認する調査の中で実施していただいているところです。 高齢者相談センターにお願いしているのは、節目の年齢で回っていただいて、サービスなどに繋がっていない方を早くキャッチして、サービスにつなげるということで訪問していただいています。 時節柄、熱中症のリスクが非常に高いので、民生委員には、熱中症対策ということで、訪問の際にお声掛けくださいとお願いしています。また、高齢者相談センターにも、熱中症対策のクーラーをつけているかとか、そういうところもあわせてみてくださいとお願いしているので、今の時期には、熱中症対策として、皆さんが声かけてくださっているのは同じだと思います。 高齢者相談センターにお願いしたいのは、早期にキャッチしてサービスにつなげるということを重点的にお願いし、また、緊急時の連絡先がないと、何かあったときに非常に困るので、それを聞いてくださいとお願いしているところです。民生委員と高齢者相談センターとの連携は、現在考えているところです。
三宅会長	ありがとうございます。 他に質問はよろしいでしょうか。 <なし>の声あり
三宅会長	それでは、ご質疑がないようですので、このあたりで締めたいと思います。 本日のご意見やご質問、指摘事項などについては、事務局で

	整理していただくこととして、本日の議事については、本協議会として承認するという事でよろしいでしょうか。 <はい>の声あり
三宅会長	ありがとうございます。それでは、議事について、本日の協議結果を踏まえ、承認とさせていただきます。 最後に、議事（４）その他ですが、事務局から何かありますか。
司会 （西山主幹）	次回の運営協議会の日程につきまして、連絡申し上げます。 次回は、令和８年１月下旬を開催予定として検討しておりますので、皆様よろしくお願いいたします。
三宅会長	以上で議事は全て終了いたしました。長時間にわたり熱心なご審議をいただき、ありがとうございました。 今後とも介護保険事業の円滑な実施に向けて、委員の皆さま方のご協力をお願い申し上げまして、議長の務めを終わらせていただきます。ありがとうございました。
加藤委員	５ 閉会 （省略）
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。 令和７年８月 ３ 日 署名 <u>三宅 仁</u>	